

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 菅

会議名: 第4回守山学区まるごと活性化プランCプロジェクト会議

日時: 平成28年9月23日(金)午後7時30分から

場所: 守山会館 2階 図書室

出席者: 伴野学区長、相宮代表、舟橋、竹村、磯

出席者(行政): 地域振興・交通政策課 坪内課長、守山会館 田中館長、菅主事

使用資料: 高齢者の居場所紹介「地域交流センターななまがり」、さづかわ交流センター「にじいろ」、小牧議員の一般質問について、草津の公民館の住民組織運営へ(京都新聞記事)

議題

1. 最近の行政関係等の動きについて
2. JR東側の活動拠点のあり方について
3. JR東側防災マップについて

会議要旨

内容

1. 最近の行政関係等の動きについて

○JR東側企業(八社会)へ説明

9月14日(水)、市の危機管理課が八社会(※11社参加)の会議に出席。

JR東側の防災体制についての説明が行われた。

<内容>

企業の駐車場等を一時避難場所として利用することについて、協定を結ぶことで一定確保しているが、いざという時には「避難所」として耐震化できている企業の建物をお貸しいただけないか。

○小牧議員の一般質問について紹介

6月議会で守山市の災害を想定した避難所について質問をされ、引き続いて9月議会でも災害を想定した避難所の運営と設備の整備について質問された。

<内容>

- ・守山市の人口に対し、屋内避難所の数は少なく避難者を収容できないのではないか。
- ・守山学区だけでも昨年度人口25,250人に対し、収容可能人数は1,456人で、5.77%である。
- ・より実現可能な防災計画に見直し、危機管理体制の充実を求める。

2. JR東側の活動拠点のあり方について

○東側にはどのような活動拠点が必要か事例をもとに検討。

①地域交流センター「ななまがり」(守山市石田町)

開館日…月～金、午前10時から午後4時まで

趣旨……一か月で約500人の高齢者が訪れ、百歳体操や手芸仲間が集い、高齢者の居場所として定着している。

毎週水曜日に地産地消のななまがりランチがある。

(裏面に続く)

決定事項

- ・次回 平成28年10月28日(金)午後7時30分から
- ・活動拠点のあり方について、関係施設へ視察に行く。

次回以降について

- ・視察先、日程の決定
- ・今後、議会等で避難所等に関する質問があれば随時Cプロジェクト内で報告

会議要旨

内容

②宅老所「そよ風」(三重県桑名市)

高齢者の居場所として、囲碁将棋麻雀カラオケ等で65歳以上の高齢者が集う歴史のある施設。

③さづかわ交流センター「にじいろ」(守山市幸津川町)

開館時間…午前10時から午後4時まで

休館日…毎週水曜日等

趣旨……市内でも高齢化率の高い状況の中、高齢者の居場所づくりや活動拠点を創ろうという考えのもと、自治会館をリフォームし、昨年11月オープン。

国の「地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金」を活用し、幸津川自治会が設置。

足湯・多目的調理室を完備。

④その他の事例

草津の公民館の住民組織運営化(京都新聞記事)

・平成29年4月から公民館が市民主体の「地域まちづくりセンター」に変わる。

・「まちづくり協議会」が指定管理者として運営する方針。

・飲食を伴うイベントや一部の営利活動も可能になり、他自治体では子育てサロン、コミュニティーカフェ、給食サービス等を行う例がある。

○守山学区の現状

・交流の拠点としては自治会館がある。新しいものを建てるのではなく、今あるものを活かす観点で自治会館を改装してコミュニティ化することも考えられる。

・現実問題として、新しく建てる場所がない。

・空いている土地があっても、自治会の土地ではない場合が多い。

・他市との境にある自治会・東側の自治会として、阿村の意見も聞きたい。

→阿村自治会の方をメンバーとして加入してもらいたい。

○見学について

・①～③のうちどこかを見学してはどうか。運営する中で苦労したことも知りたい。

・見学については会館の方で日程調整し、候補をあげる。

3. JR東側防災マップについて

○マップの活用案

・自治会集会所等に掲示する。

・防災訓練で配布する。

・市ホームページに掲載する。

→情報の更新がしやすく、最新の情報を提供できる。必要に応じて印刷できて便利。

○活用事例

・梅田町自治会では防災マップ作成し、広報に掲載している。

・大阪府吹田市JR以南(JR守山駅でいう東側)の防災マップがHPIにアップロード。

・草津市では子ども向けの防災マップを作成。